



み や ぎ

- 31号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院

発行責任者 清野 仁

〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316

ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

今年が真の復興元年になりますように



院長 清野 仁

新年明けましておめでとうございます。皆様には、新たな決意のもと、希望に満ちた新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、春とは名のみ、まだ雪の降る3月11日、未曾有の東日本大震災に見舞われ、大津波により、1万9千余の方々の尊い命が失われました。宮城病院のある山元町も700名に近い方が亡くなられ、当院でも、職員1名と通院中の多くの患者さんが犠牲になりました。大震災から早10ヶ月が過ぎ、大津波により家や家財を失った職員も少しずつ生活の基盤を築き始め、壊滅状態となった町や港も復興に向かい、動き始めています。しかし、この痛手は、あまりにも大きなものでした。当院の経営におきましても、震災以降、近隣医療機関の閉鎖や救急搬送体制の変更、地域住民の転居などにより一時的に大きく落ち込み、当初計画と比べ、6月末の累計で経常収支

率がマイナス2.3%という状況に陥りました。また、11月に予定していた、病院機能評価Ver.6の受審準備も中断を余儀なくされ、さらに今年度中に軌道に乗せる予定であった、老朽化した外来管理棟及び治療棟の建設計画も着手できないままとなりました。しかし、経営状況に関しては、7月以降、関係各部署の努力により、震災後の落ち込みを挽回するかのような改善が見られ、11月末には、経常収支率が累計で当初計画を上回るまで回復しました。これも、震災の被害を受けながら、地域住民のため、安全かつ信頼される医療の提供のため、職員全員が一丸となって復旧に取り組んだ成果の賜でありました。さらに、国立病院総合医学会では、4題の発表が優秀賞を、また、QCサークル活動においても2年連続の「ブロック優秀賞」を受賞するなど、逆境においてもなお宮城病院の底力を大いに示すことができました。

医療を取り巻く課題は山積しております。特に、4月に改正が予定されている、障害者自立支援法も未だ詳細が見えない状況にあり、また国立病院機構の新法人への移行も取りざたされています。しかし、昨年の苦境を乗り越えた力をもってすれば、どんな困難にも立ち向かい、撥ね退けられるものと信じております。

現在、山元町は震災復興計画案を策定し、着々と新しい町作りを進めているところです。その中で、当院は医療福祉ゾーンの中核と位置づけられ、地域医療における中心的な役割を担うこととなり、今後、ますますその存在の重要性が高まっていくことが予測されます。

当院が、住民の生活に密着し、町の復興・地域の発展に大きく寄与するためにも、引き続き、住民に安全で心を込めた良い医療を提供していきたいと考えております。

本年も宜しくお願いいたします。

## 第65回 国立病院総合医学学会に参加して

平成23年10月7日(金)～8日(土)の2日間にわたり、岡山市で第65回国立病院総合医学学会が行われ、本院からも多くの職員が参加しました。参加され賞を受賞した方の中から2名の方に感想をいただきましたのでご紹介します。

10月7日(金)・8日(土)と岡山市で開催された第65回国立病院総合医学学会のポスターセッション部門にて、H22年度旧あすなる1病棟で看護研究をした「重症心身障害児(者)の摂食・嚥下機能の変化を評価できる経過表の作成～事例の検討から～」の発表をさせていただきました。研究当時、新しい経過表を作るにあたり見やすいレイアウトはもちろんのこと、新人や配置換で新しく来たスタッフが見てもわかりやすく評価しやすいもの、なおかつ個性があるものというそれまでにはなかった評価基準を作成するのにとても苦労しました。元々、尻を叩かれないと行動できない私を当時のあすなる1病棟の笹谷師長をはじめ研究メンバーのみんなが辛抱



強くフォローしてくれたのと、摂食機能訓練の指導をしてくださっている千木良先生や中原先生、摂食プロジェクト委員に助けられてなんとか病院の発表会で報告できるものに仕上げることができました。さらには今回の国立病院総合医学学会で発表することとなり、緊張しましたが、無事発表を終えることができ、ベストポスター賞までいただき光栄でした。これもひとえにこの頼りないリーダーの私を支えてくれた研究に関わった皆さんのおかげだと感じています。

今は、発表した経過表を実際に使用する取り組みの看護研究についてアドバイスをしています。今回の受賞を励みに、今後は私がリーダーを支えられるよう頑張りたいと思います。

(中央1病棟看護師 菅野 正人)



10月7日(金)・8日(土)、第65回国立病院総合医学学会が岡山市で行われ、重症心身障害のポスターセッションに演者として参加させていただきました。

私の発表は7日の15:10～でしたので、下見も兼ねて前日から岡山市に入りました。学会は岡山駅周辺の会場で行われましたが、当日は医学会の参加証をつけて行き交う人々の多さ、医学会に対する関心の高さに、あらためて感心させられました。

発表は、療育指導室の皆さんの協力や助言もあり、お陰様でベストポスター賞まで頂くことができました。また、他病院の事例や指導室の取り組みの事例など多くの発表を聞くことが出来て大変参考になりました。

当日の夜には岡山城で行われた交流会にも参加させていただきました。全国から参加していた各病院の方々と情報交換や交流も深められ、楽しい一時を過ごすことができ、良い思い出になりました。このような機会を与えてくださった職場の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

(保育士 大槻 和子)

# 「脳ドック」 リニューアルオープン

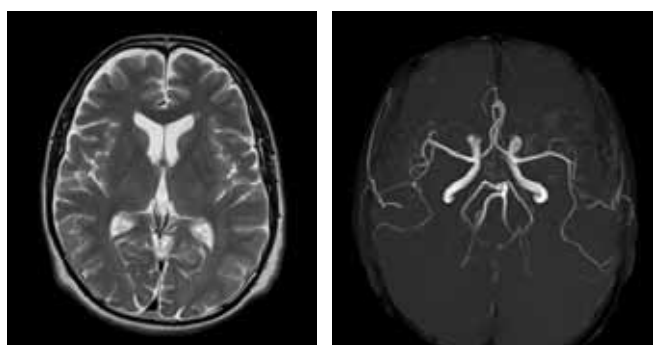
当院では、脳ドックをリニューアルし、平成23年12月から新たに予約の受付を開始いたしました。

脳血管障害は癌・心臓病と共に三大成人病と言われ、予防や治療方法も日々進歩しておりますが、死亡率は低下したとはいえ高齢化社会を迎えて発病数はまだまだ多く、発症後の寝たきりや認知症などが大きな社会問題となるなど、完全な予防策がないのが現状です。

当院の脳神経外科には3名の常勤医師が在籍し、脳卒中、脳梗塞、くも膜下出血などの急性期脳血管疾患に対する治療を中心に年間約100例以上の手術と神経内科と連携した神経難病に対する専門医療を行っております。

さて、自分の全く知らない間に脳の中に脳梗塞や脳出血が出来ていたら大変な事ですが、今、全く自覚症状のない脳卒中、無症候性脳梗塞や無症候性脳出血が中高年層の間で徐々に増加していると言われています。脳は一度障害を受けると再生する能力がない組織です。重症の脳卒中にならないためには脳ドックによる早期診断と、もし必要があれば早期からの予防対策が大切です。特に、高血圧や糖尿病などの脳卒中になりやすい方、ご家族やご自分の家系に脳卒中の既往歴がある方は、是非脳ドックをお勧めします。

今回リニューアルした検診内容は、MRI、頸動脈エコー、心電図、もの忘れ検査、血液検査を行う脳ドックコースと、時間のない方にお勧めなMRI検査のみを短時間で行う脳検診の2コースをご用意しております。



M R 画 像

また、当院の脳神経外科専門医が検査結果を直接ご説明いたしますので、安心です。

実施日は毎週月曜、火曜の午後、完全予約制となっておりますのでお待たせする事はありません。

脳ドックに関する詳しい内容は、当院ホームページをご参照下さい。

早期発見、早期治療のため、皆さまのご利用をお待ちしております。

(経営企画室長 長澤 良相)

## 紹介医療機関 (12月末日現在) ご紹介ありがとうございます。

- ・ 公立相馬総合病院 (54件)
- ・ 松村クリニック (51件)
- ・ 平田外科医院 (48件)
- ・ 相馬中央病院 (46件)
- ・ 仙台厚生病院 (38件)
- ・ 宮城県立がんセンター (37件)
- ・ やべ内科クリニック (34件)
- ・ 三浦クリニック (27件)
- ・ 金上病院 (25件)
- ・ 南東北病院 (24件)

上位10医療機関のほか、県内外170医療機関からご紹介いただいております。



# 診療案内

平成24年1月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
						仙台医療センター医師
神経内科	新患	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史
	再来	今井 尚志	今井 尚志	松本 有史	久永 欣哉	
			伊藤 博明	平岡 宏太良 (高次脳機能障害)	伊藤 博明	
呼吸器科			芦野 有悟			
消化器科				県立がんセンター (13:30~15:30)		
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
整形外科						県立がんセンター (13:30~15:30)
形成外科						澤村 武 庄司 未樹 隔週交代 (13:30~15:30)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科	新患				大隅 悦子 (14:00~15:00)	
	再来	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
放射線科(画像診断)				齋藤 美穂子		
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史
	ALS外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来			平岡 宏太良		
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	伊藤 博明	久永 欣哉	久永 欣哉	大隅 悦子	松本 有史

## 受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承ください。

## 交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線巨理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

